

1 月に入り、なぜか鼻がムズムズしくしゃみをよくするようになりました。例年 3 月頃から飛散し始めるスギ花粉が今年では東海地方では早くも 1 月上旬に飛散開始が確認されたところもあるそうです。この先 2 月にかけて気温が高く推移する見通しとのことです。花粉症の方もそうでない方も、どうぞ大切にお過ごしください。

～「小児口腔発達不全症」について～

1 月 23 日に横須賀市私立幼稚園・認定こども園協会主催の子育てセミナーで医療法人社団 SED 汐入駅前歯科 山口和巳先生から「小児口腔発達不全症」の研修を受けました。

フッ素使用および保護者による仕上げ磨きにより現在、小児の虫歯は激減しているが、「小児口腔機能発達不全症」（15 歳未満の小児で、生まれつき病気ではないのに、お子さんのお口の機能が十分に発達しなかったり、上手く使えなかったりする状態のこと）が、近年小児歯科領域で問題となっているとのことです。17 日に本園で第 2 回目の歯科検診を行いました。園歯科医 神奈川歯科大学の先生も、「お子様の口がいつも開いている」「いびきをかいている」「うまく発音ができない」など「小児口腔機能発達不全症」の兆候がみられた際は、早めに歯科医にご相談下さいとのことでした。2018 年から「小児口腔機能発達不全症」に国も本腰を入れているそうです。まず知ることが大切です。（医療の専門分野になりますので、医療機関へのお問い合わせをお願いいたします）

～幼稚園と小学校の連携について～



安全↑・ルール↓を考える



先日、市内小学校と幼稚園・認定こども園との勉強会がありました。就学前教育機関と小学校とのなめらかな連携を図るために、横須賀市では小学校 1 年生は入学後約 1 か月（期間は学校により若干違います）を「スタートプログラム」と位置づけ、「小学校での生活」に慣れることに力を注ぎます。ある小学校では、入学後約一週間、新しい友達と園で遊んだこと（例えば折り紙や絵本を読んだり園庭で友だちと大縄をする等）とほぼ同じことをしたそうです。すると、新しい仲間と打ち解け、次の展開を話し合い、わからないことを解決に向けて考えを伝えあい、担任に相談を持ち掛けたそうです。私は、映像と共にその話を聞き、とても嬉しく思いました。うわまち幼稚園での遊びが小学校での学びにつながることを確かに感じたからです。



見て伝え合う↑・聞き伝え合う↓

この時間は「生活科」に属すると思われませんが、小学校生活への架け橋になったことでしょう。

では、年長児は、園でどんな遊び（学び）をすればよいのでしょうか。「考える」「聞く」「伝え合う」です。この 3 つの力は入園後、園で耕され培われる力ですと同時に小学校で花開く力であると感じます。当園では市内 2 校との交流を予定しています。園でのお子様の生活を小学校にきちんとお伝えしたいと思えます。

